



子どもたちが健やかに育つ、保護者・地域から信頼される学校に

校長 早川 和男

色とりどりの花が美しく咲き木々の新芽が息吹く、心が躍る季節になりました。お子様のご入学、そしてご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本日、第1学期の始業式と入学式を行い、元気あふれる子どもたちの希望に満ちた表情を見ることができました。全校児童数390名、各学年2クラスの12学級で平成31年度が始まりました。子どもたちは、新しい学年、学級での学校生活に大きな希望といくらかの不安を抱いて、入学式・始業式を迎えたことと思います。そのような子どもたちの思いを受け止め、毎日が充実し楽しいと感じられる学校となるよう、私たち教職員一同、一丸となって教育活動を進めて参ります。

今年度の学校教育目標は、下記のとおりです。

- ◎ 自ら考え行動する子ども
- 仲良く助け合う子ども
- 明るく元気な子ども



今年度は「自ら考え行動する子ども」を重点目標とし、学力の向上に力を入れていきたいと考えています。本校教員が取り組む校内研究では、昨年度から「主体的、対話的で深い学びに取り組む児童の育成」をテーマに授業研究に取り組んでいますが、子どもたちのよりよい成長を目指して今年度も継続していきます。また、ご存知のとおり、2017年3月に新しい学習指導要領が告示され、現在は本校でも2020年の完全実施に向けて、移行措置の内容で取り組んでおります。大きく変わるの、主として「道徳」と「外国語（活動）」ですが、子どもたちの『生きる力』を育むことができるよう、工夫をしていきます。

さて、昨年度は開校50周年を迎え、盛大に記念式典・祝賀会を挙げる事ができました。開校以来50年の歴史を振り返って、伝統を確かめるとともに、50周年をみんなで祝いしました。そして、50周年記念の歌「十三小の校庭で」を声高らかに歌い、これからの益々の発展を誓うことができました。その際には、保護者や地域の皆様の多大なるご協力を得ることができ、いつも支えていただいていることの重さを実感いたしました。これからは、「平成」の時代から「令和」の時代へと移り変わる転換の時を迎えますが、本校は、小平第二中学校と連携して、“コミュニティスクール”として、新たなスタートを切りました。学校支援ボランティアの方々のお力添えを得ながら、子どもたちの健やかな成長を目指して取り組んで参りたいと思います。今後も「学ぶ喜びを体感し、励まし合い助け合って一人一人が輝く学校」の創造を進め、保護者の皆様や地域の皆様から信頼される学校となるよう、教育推進に努めて参ります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。